

お買い上げいただきありがとうございます。ご使用前に必ずこの「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくご使用いただきますようお願い申し上げます。

- この「取扱説明書」はいつでもお読みいただける場所に大切に保管してください。
- この「取扱説明書」は保証書を兼ねております。

仕様	
種別	光電式住宅用防災警報器
型式	電池方式、2種 (DC3V, 300mA)、自動試験機能付
型式番号	住警第 27 ~ 9 号
感知方式	煙式
電源	専用リチウム電池 DC3V
火災警報音	「ピュー、ピュー、ピュー、火事です、火事です」
異常警報音	「ビッビッビッ、異常です」
電池切れ警報音	「ピッ、電池切れです」
公称音圧	70dB 以上 (1m)
寸法	Φ 72mm × 32.3mm (ベース取付時)
質量	約 85g (電池含む)
使用周囲温度	0°C ~ +40°C (結露なきこと)
電池寿命	約 10 年

保証書

商品名	光電式住宅用防災警報器 煙雷
商品番号	SF12B
保証期間	お買い上げ日より 1 年間
お買い上げ	年 月 日
お客様	ご住所 お名前 お電話
販売店さま	ご住所 (店名) お電話

Fenwal® 日本フェンオール株式会社
FENWAL CONTROLS OF JAPAN, LTD.
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 1-5-10 (教販九段ビル)
TEL(03)-3237-3565 FAX(03)3237-3569

お客様相談窓口
0120-616-250
(受付時間: 8 ~ 20 時、年中無休)

商品に関するお問い合わせは、お客様相談窓口 (フリーダイヤル) まで
お電話がつながらないときはお手数ですが、
当社ホームページ <http://www.fenwal.co.jp/> のお問い合わせより防災部門へ
メールでお問い合わせください。

1 警報器をご使用になる前に

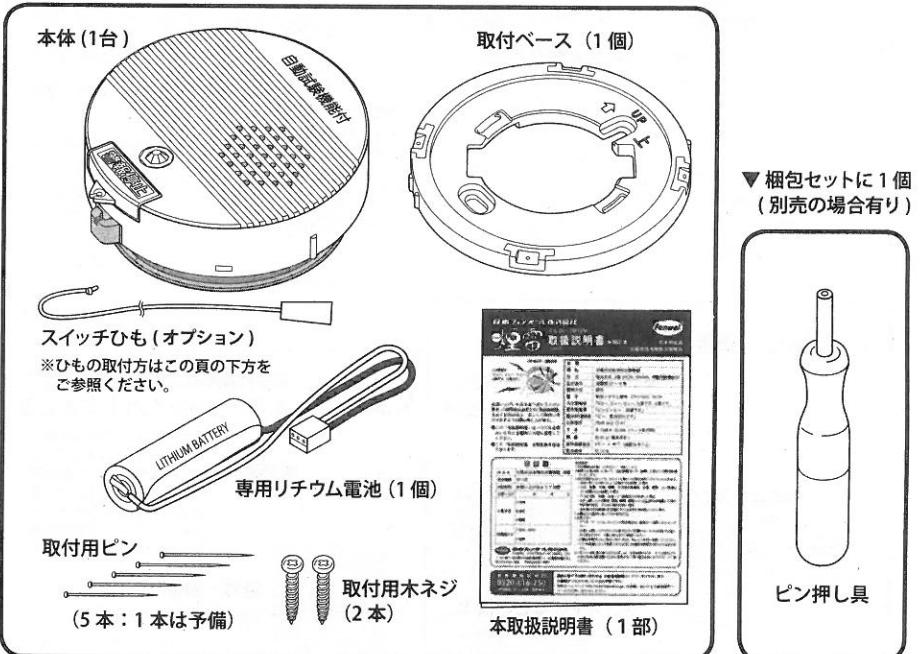
警報器を正しくお使いいただくために、お客さまや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、この取扱説明書には絵表示をしています。それらの表示と意味は以下のようになっていますので、内容をよく理解してから本文をお読みください。

・誤った設置や取り扱いによる危害や損害の程度を以下の表示で示しています。

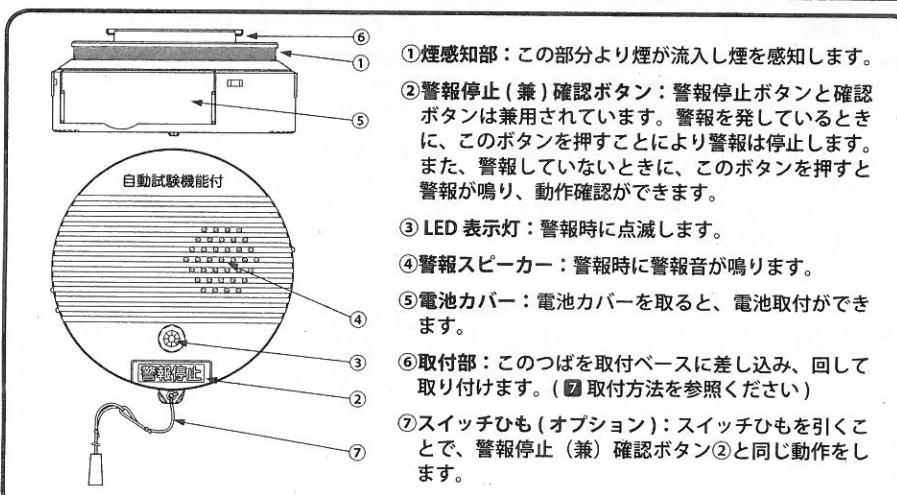
警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が想定されていることを表しています。
「一般的な禁止」事項を示しています。	「分解禁止」を示しています。

2 同梱品のご確認

オプションにより同梱品の内容が異なります。



3 各部の名称と働き



- ①煙感知部：この部分より煙が流入し煙を感じます。
- ②警報停止（兼）確認ボタン：警報停止ボタンと確認ボタンは兼用されています。警報を発しているときに、このボタンを押すことで警報は停止します。また、警報していないときに、このボタンを押すと警報が鳴り、動作確認ができます。
- ③LED表示灯：警報時に点滅します。
- ④警報スピーカー：警報時に警報音が鳴ります。
- ⑤電池カバー：電池カバーを取ると、電池取付ができます。
- ⑥取付部：このつばを取付ベースに差し込み、回して取り付けます。（ 取付方法を参照ください）
- ⑦スイッチひも（オプション）：スイッチひもを引くことで、警報停止（兼）確認ボタン②と同じ動作をします。

4 ご使用上の注意



警報器は絶対に分解しないでください。



警報器を落としたり、衝撃を与えないでください。故障の原因となります。

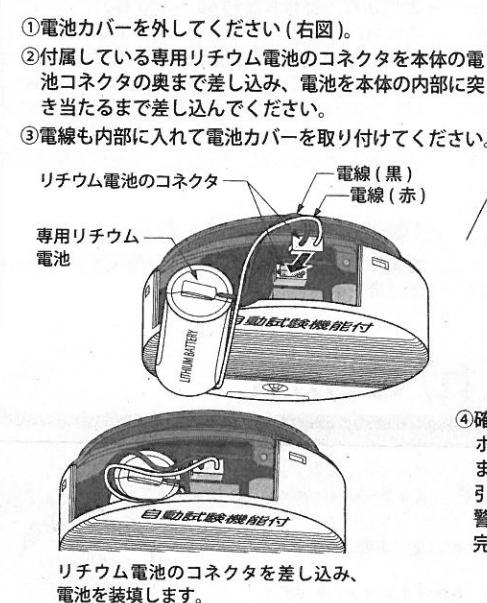
- スイッチひもにぶら下がったり、物を吊るしたり、必要以上の力で引っ張ったりしないでください。警報器が故障したり、天井や壁面から脱落する恐れがあります。



- この警報器は煙を感じて警報するもので、火災の防止装置ではありません。
- 火災などによる損害についての責任を負いかねますので、ご了承ください。
- 警報器を取り付けた部屋の扉やふすまを開めているときは、ほかの部屋で発生した火災による煙が警報器までとどかず警報を発しない場合があります。
- 警報器の前に、物を置いたり取り付けたりしないでください。警報の遅れの原因となります。
- 殺虫剤（くん煙殺虫剤、加熱蒸散殺虫剤なども含む）、化粧品などのスプレーを警報器の近くで使用すると、警報器が警報を発することがあります。殺虫剤（くん煙殺虫剤、加熱蒸散殺虫剤なども含む）を使用するまえに、警報器をボリ袋等で覆ってください。使用後換気をし、ボリ袋などを外して必ず警報器をもとの状態に戻してください。
- この警報器は、消防法で定められた自動火災報知設備には該当しないため、それらの設備への使用や接続はできません。
- 使用状況により、10年経過する前に電池がなくなることがあります。
- 3日間以上留守にされたときは、正常動作を確認してください。（留守中に電池切れ警報があつてもわからないため） 定期点検の仕方参照
- 使用開始から10年を経過した場合には新しい警報器をお買い求めいただき交換することを推奨します。

5 電池の取付方

警告 電池には極性があります。+と-をまちがえると電池の発火や警報器の故障の原因となります。



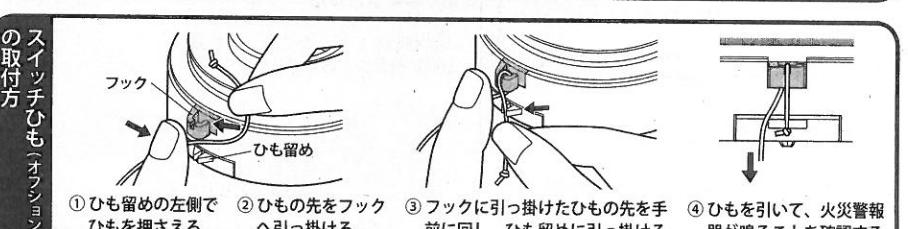
【電池カバーの外し方】
どちらか一方のつまみを内側につまむとカバーの取付・取り外しができます。



④確認ボタン（警報停止ボタン）を軽く押す、またはスイッチひもを引いてください。火災警報が鳴れば電池取付完了です。



- 指定以外の電池は取り付けないでください。故障の原因となります。
- コネクタには極性があります。逆に取り付けできません。
- コネクタの接続にドライバーなどを使用したり、電池の電線を強く引っ張ったりしないでください。コネクタ部の破損や電線が断線または短絡する原因となります。
- 電池カバーの取付時に、電池の電線の挟み込みに注意してください。電線が切断または短絡する原因となります。
- 外装フィルムは専用リチウム電池を保護するものです。はがさないでください。

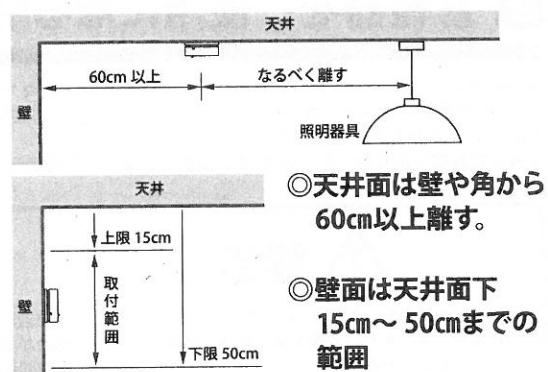


6 取付場所

- ・居室、寝室、階段、廊下など
- ・お年寄りや小さなお子様、ご病人のお部屋などにおすすめします。

注意 設置および維持基準については、各市町村が定める火災予防条例を確認してください。

確認ボタン（警報停止ボタン）が操作しやすい位置に取り付けてください。



◎天井面は壁や角から60cm以上離す。

◎壁面は天井面下15cm~50cmまでの範囲



10 自動試験(異常警報)

- この警報器には自動試験機能があります。異常を検出すると、約50~100秒おきに「ピッピッピッ、異常です」と異常警報音が鳴り、LED表示灯が3回点滅します。
- 異常警報中に警報停止ボタンを押す、またはスイッチひもを引くと「ピッピッピッ、異常です」と異常警報音が鳴り、LED表示灯が3回点滅し、その後異常警報は約12~24時間停止します。12~24時間後に異常が継続している場合は、異常警報を再度発します。
- 異常で警報停止をしているときに、警報停止ボタンを押す、またはスイッチひもを引くと、「ピッピッピッ、異常です」と異常警報音が鳴り、LED表示灯が3回点滅し、警報停止中であることが確認できます。
- 異常警報を発したら、速やかに警報器を交換してください。

11 電池切れ検出機能

- 電池の電圧が低下した場合、自動的に電池切れをお知らせします。
- ◎電池切れを検出すると
- 電池切れの警報音が約50~100秒おきに「ピッ、電池切れです」と鳴り、LED表示灯が1回点滅します。
 - 電池切れの警報中に警報停止ボタンを押す、またはスイッチひもを引くと「ピッ、電池切れです」と鳴り、LED表示灯が1回点滅し、その後電池切れ警報音は約4~8時間停止します。4~8時間後に電池電圧の低下が継続している場合は、電池切れ警報を再度発します。
- ◎電池切れ警報を発したら
- 電池が消耗しているので、新しい警報器をお買い求めください。

12 定期点検(お手入れ)のしかた



点検時は高所作業となり、転倒・落などの危険があります。足場の確保など安全に作業できるようご留意ください。



警報音を必要以上に鳴らすと、電池消費量が多くなり、電池寿命が短くなります。

下記の要領で6ヶ月に1度以上、定期点検をしてください(動作確認)。
・約1秒間、確認ボタン(警報停止ボタン)を押す、またはスイッチひもを引いてください。
・「ピュー、ピュー、ピュー、火事です、火事です」と火災警報音が1度鳴り、LED表示灯が4回点滅すれば正常です。



よく絞ってからふく
お手入れをされる場合は布に水または石けん水を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ってください。

ホコリを取る



煙感知部の全周に設けられた金網周辺のホコリを掃除機などで取り除いてください。



お手入れには中性洗剤・塩素系漂白剤・ベンジン・シンナーおよびアルコールは使わないでください。警報器表面に傷がつく場合があります。

お手入れ後、煙感知部に異物(糸くず・水など)を残さないでください。誤報の原因となります。

7 取付方法

設置場所を確認して取り付けてください。

壁面取付では、取付ベースの「↑ UP (上)」を真上に取り付けます。



↑ UP (上)

↑ UP (上)